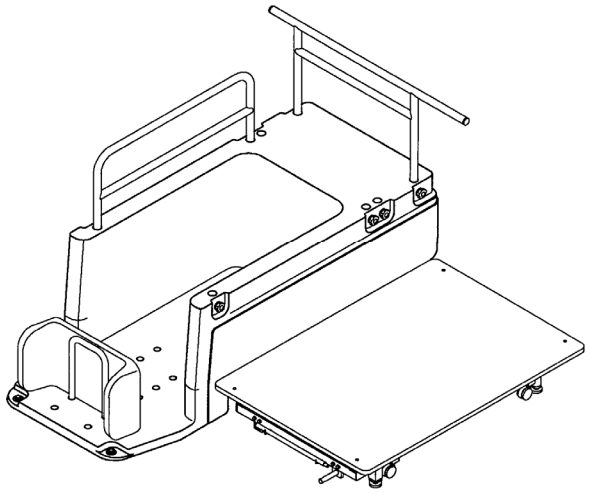
取扱説明書

開放型 浴室セット

SAS-900

開放型浴槽　SAD-901

洗い場　SAD-902



- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 「取扱説明書」は
  ・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
  ・1部を保存用として、大切に保管してください。

SAKAImed

06-041⑥L1

もくじ

安全上のご注意 …… 6
各部の名称 …… 8
ご使用になる前に …… 9
浴槽周りの設定方法 …… 10
お手入れの仕方 …… 16
機器の保守・点検について …… 16
保証とアフターサービス …… 17
仕　様 …… 18

用途

本製品は、湯を使用せずに、入出浴動作トレーニングを効率よく行なうことを目的に構成された浴室セットです。

特長

湯を使用しないので設置場所を問わず、服を着たままのトレーニングが行えます。

湯を使用しないので、本製品を部屋のどこにでも移動して設置でき、いつでもトレーニングすることができます。

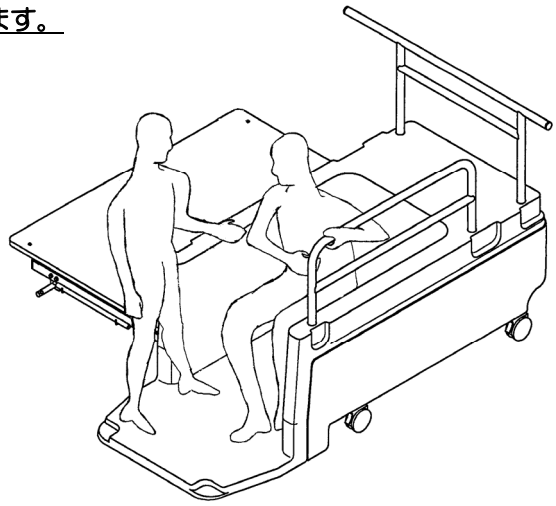
また、湯を使用しないため、トレーニングする人は、服を着たままでトレーニングできますので、トレーニングする人の体温の低下やトレーニング時間、設置環境等を裸体でのトレーニングほど厳しく管理する必要がありません。

さらに、水による浮力を受けず、負荷が湯中より大きくなるため、より大きなトレーニング効果が期待でき、本製品によるトレーニング後には、実際の湯中での入浴が容易になります。

浴槽の一面が開放されていることで、使用する人に合わせた、最適なトレーニングができます。

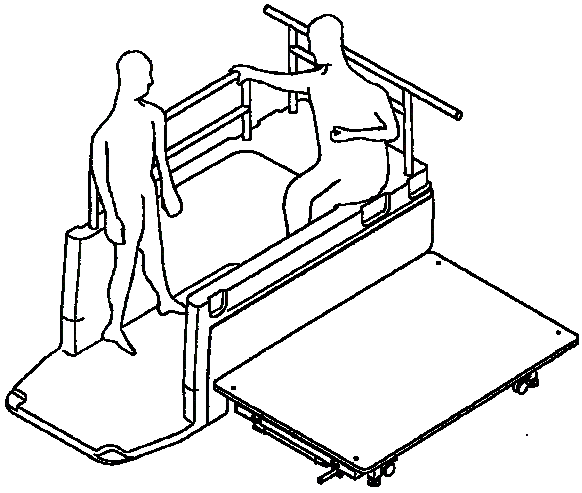
①介助スペースが広く、介助・指導が容易にできます。

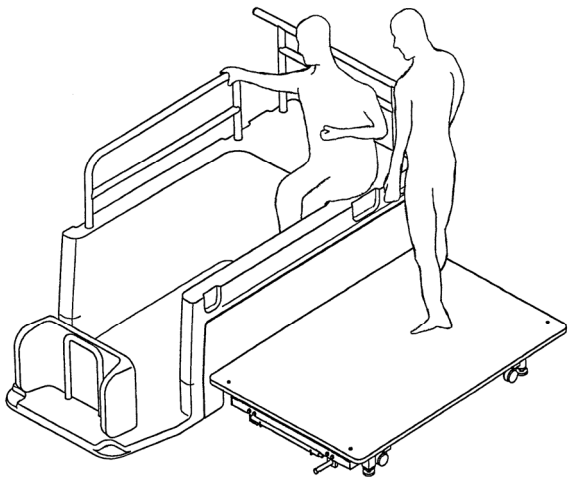
浴槽の一面がないことにより、広い介助スペースができるため、指導する人が浴槽内に一緒に入って、トレーニングする人を無理なく介助・指導することができます。



②指導する人の出入りが容易です。

指導する人の浴槽への出入りが容易であるため、指導する人が浴槽内外や洗い場の上のスペース全体を自由に移動しながら、適切な位置を選択することで、トレーニングする人を無理なく介助・指導することができます。

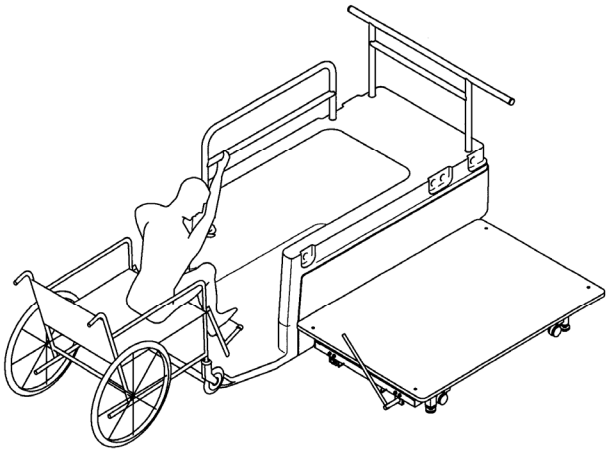


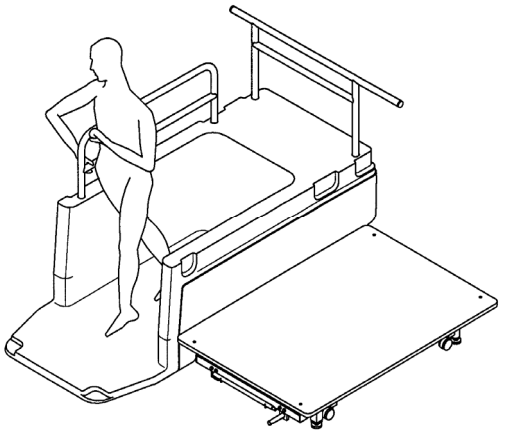


③トレーニングする人の出入りが容易です。

トレーニングする人の浴槽への出入りは、開放された側からも行え、浴槽縁のまたぎ動作がまだできない人でも、浴槽内で立ち上がる動作や、浴槽内で縁に腰掛ける動作、洗い場で縁に腰掛ける動作などを、部分的に取り出してトレーニングできますので、トレーニングする人の要介護度・動作習熟度に合わせたトレーニングができます。

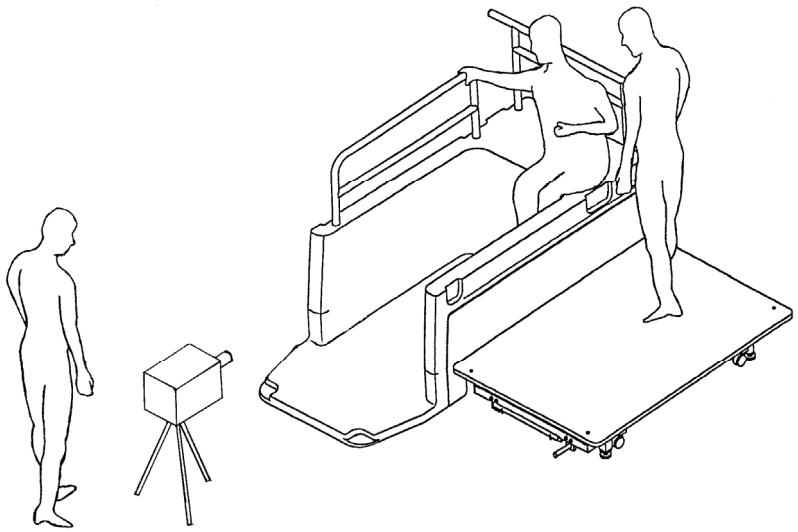
また、指導する人がトレーニングする人を、車椅子から浴槽内や洗い場にトランスファーさせたりする負担も軽減できます。





④トレーニング状況をよく観察できます。

開放された側からトレーニングの状況（体位・手足の位置・動作など）がよく観察できるので、撮影をしたり、直接見ることにより、トレーニングする人及び家族に対して、細部にいたるまでわかりやすく入出浴動作の指導ができます。



このように、水を使わないので、いつでもトレーニングでき、自然と筋力もつき、自力で入出浴ができるようになることが期待されます。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

設置・設定

⚠警告

洗い場に人や物を乗せた状態で昇降させない

人や物が転倒して、けがをする恐れがあります。

浴槽内に入れるときは目印マークに注意する

向きを逆にしますと、槽内台と浴槽の間に大きなすきまができ、 足先などをはさみ込んで、けがをする恐れがあります。

⚠注意

浴槽及び洗い場を移動させるときは、床面の段差等に十分注意

けがをする恐れがあります。

昇降の前に、周囲に障害物がないことを確認

特に下降させる際は、洗い場の下側に身体の一部又は障害物等を挟み込まないように十分注意してください。

手すりの固定は確実に行う

不十分な場合、けがをする恐れがあります。

洗い場用ガードの固定は確実に行う

不十分な場合、けがをする恐れがあります。

移動後は浴槽及び洗い場をしっかり固定する

固定が不充分だと、トレーニング中や指導中に浴槽及び洗い場が動いて、けがをする恐れがあります。

レバーは必ず終点まで動かし、途中で止めない

途中で止めますと、トレーニング中や指導中に洗い場が下降し、けがをすることがあります。

槽内台を使用しないときは安全な場所に保管する

壁に立てかけたりしないでください。
倒れてけがをする恐れがあります。

使用上の注意

⚠ 注意

レバーを軸につけたままトレーニングを行わない
引っかけて転倒する恐れがあります。

洗い場には、３人（200kg）以上乗らない
故障の原因や事故の恐れがあります。

清掃時にシンナー，ベンジンなどで拭かない
塗装及び製品表面を侵す恐れがあるので使用しないでください。

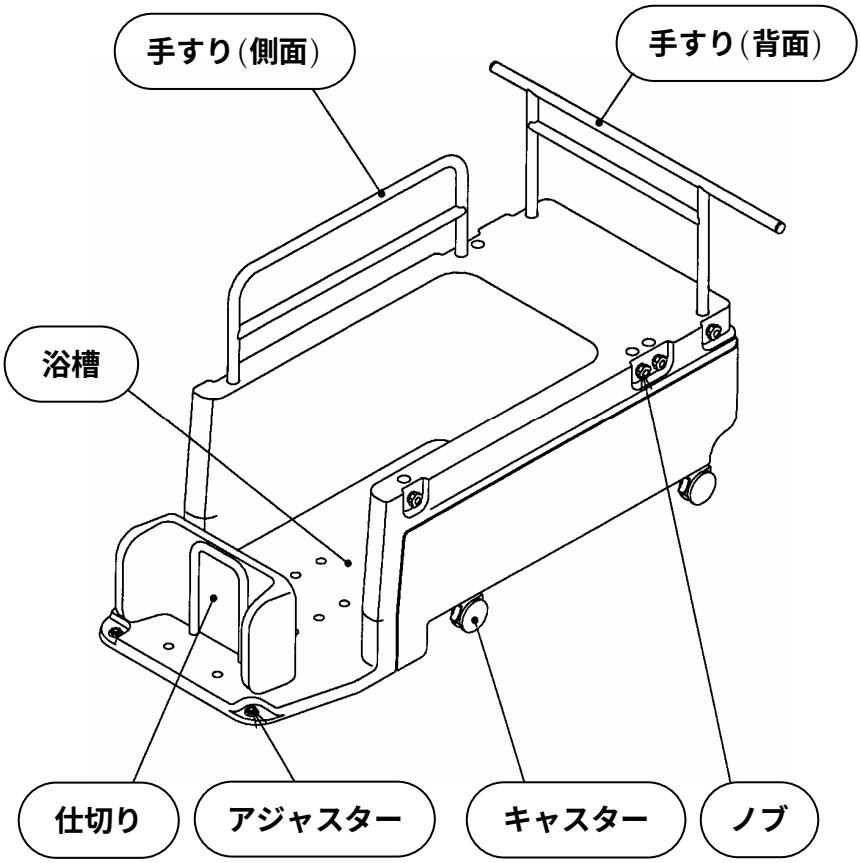
医師や指導者の指示に従ってトレーニングを行う
指示以外のトレーニングはけがや事故の恐れがあります。

機器の改造はしない
故障の原因や事故につながる恐れがあります。

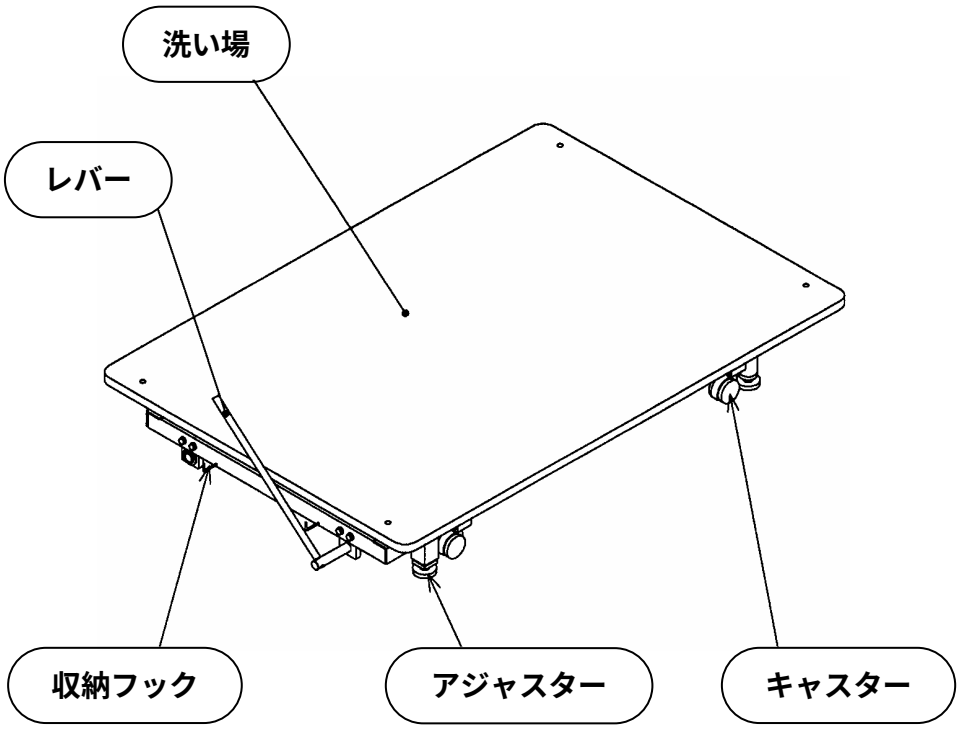
使用しないときは、洗い場は、最下端位置にしておく
急に下降して挟み込む恐れがあります。

各部の名称

開放型浴槽（SAD-901）



洗い場（SAD-902）



❁ 構 成

〇開放型浴室セット（SAS-900）

- 開放型浴槽（SAD-901）　・・・1式
  - ・浴槽　・・・1
  - ・仕切り　・・・1
  - ・手すり（背面）　・・・1
  - ・手すり（側面）　・・・1

- 洗い場（SAD-902）　・・・1式
  - ・洗い場　・・・1
  - ・レバー　・・・1

〇オプション

- 槽内台（SAD-903）
- 洗い場用ガード（SAD-904）

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.16の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

- ■ 浴槽・洗い場の周囲に、障害物がないことを確認してください。
- ■ 浴槽・洗い場が、しっかり固定されていることを確認してください。
- ■ 手すりが浴槽に、確実に固定されていることを確認してください。

浴槽周りの設定方法

本製品は、浴槽・洗い場とも移動式であり、トレーニング室内の移動が容易に行えます。また、手すり・仕切りなどの位置を変更することにより、浴槽周りの環境を設定できます。

【標準品による設定】

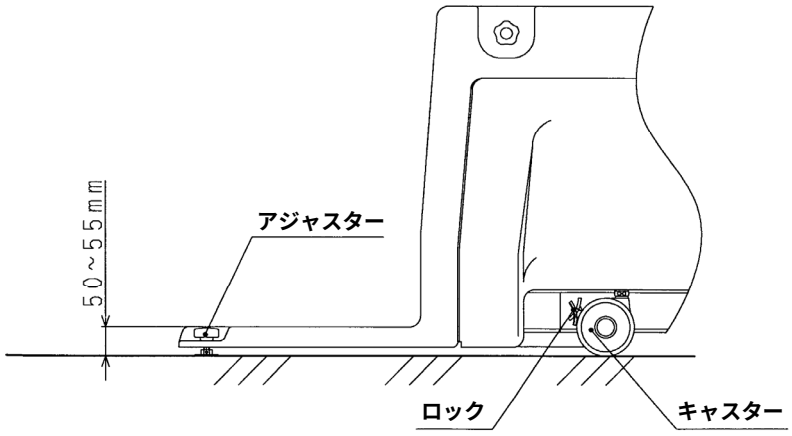
①浴槽の設置

浴槽は移動可能であり、トレーニング室の中で、場所を変えて設置することができます。また、本製品を使用しないときには部屋の端に移動するなどして、トレーニング室のスペースを有効利用できます。

《方法》

浴槽を移動させる場合は、アジャスターを縮め、キャスターのロックを外して、浴槽を所定の位置まで移動させてください。

その後、周囲に障害物がないことを確認した後、キャスターのロックをかけ、アジャスターを伸ばして浴槽を固定し、ガタ・移動などがないことを確認してください。このとき、浴槽底面から部屋の床面までの高さを 50～55 ㎜に設定してください。

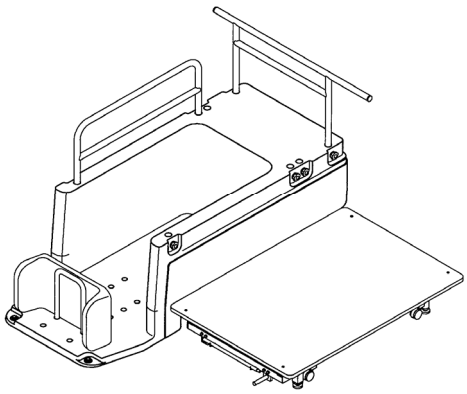


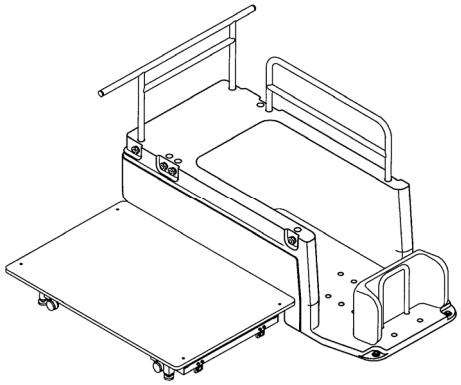
②洗い場の設置

洗い場は移動して、浴槽の左側または右側に設置できます。

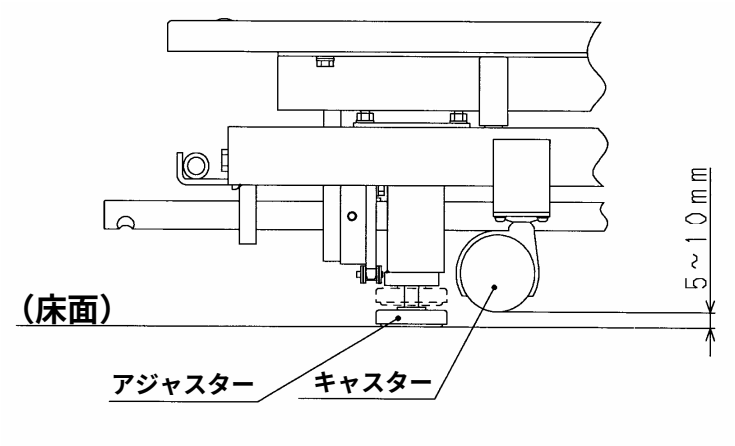
《方法》

洗い場を移動させる場合は、洗い場高さを低い位置にセットして行います。はじめに、アジャスターを縮め、キャスターが地面についたことを確認後、洗い場を所定の位置まで移動させてください。





周囲に障害物がないことを確認した後、アジャスターを伸ばし、洗い場を固定し、ガタ・移動などがないことを確認してください。このとき、キャスターと部屋の床面までのすきまを、5～10 ㎜あけてください。



注意　・浴槽及び洗い場を移動させるときは、床面の段差等に十分注意

・移動後は浴槽及び洗い場をしっかり固定する

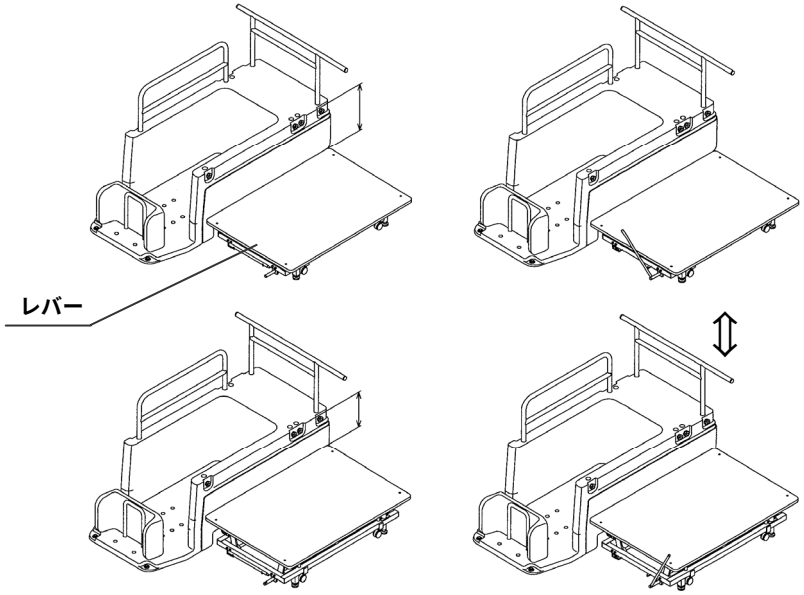
③浴槽縁高さの設定

洗い場高さは床面から 210 ㎜，310 ㎜の 2 段階に設定でき、これにより、浴槽縁上面から洗い場までの高さを、約 400 ㎜(一般的な浴槽縁高さ)，約 300 ㎜の 2 段階に設定できます。

《方法》

洗い場高さを変更する場合は、レバーを収納フックより取り出し、軸にあいている穴に挿し込んでください。レバーを持ち上げると高さが上がり、レバーを倒すと高さが下がるようになっています。（下図参照）

高さ変更後は、レバーを収納フックに戻してください。



⚠警告　洗い場に人や物を乗せた状態で昇降させない

人や物が転倒して、けがをする恐れがあります。

⚠注意
- **昇降の前に、周囲に障害物がないことを確認**
- **レバーは必ず終点まで動かし、途中で止めない**
- **レバーを軸につけたままトレーニングを行わない**
- **使用しないときは、洗い場は、最下端位置にしておく**

④側面手すりの位置・高さの設定

洗い場の移動に合わせて、側面手すりの位置を左側または右側に設定できます。また、浴槽縁上面から側面手すり上部までの高さを、250 ㎜，300 ㎜，350 ㎜の3 段階に設定できます。

側面手すりを、トレーニングする反対側（洗い場を設置しない側）の縁の穴に挿し込んだ後、適切な高さに合わせてノブで固定し、ガタがないことを確認してください。

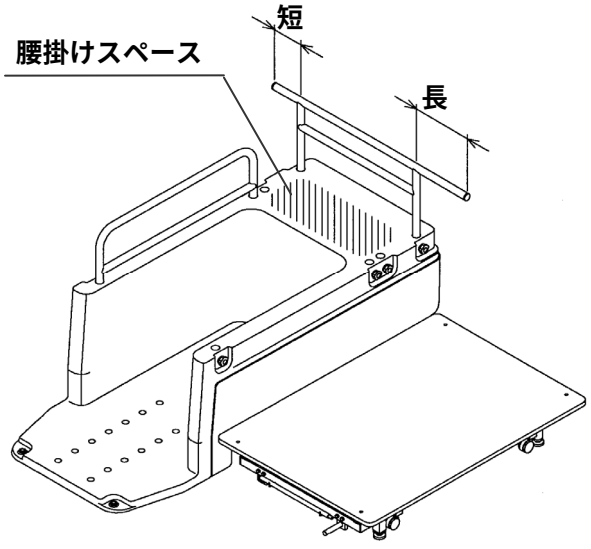
手すり設置後、手すりを取付けてない穴はゴムキャップをしてください。

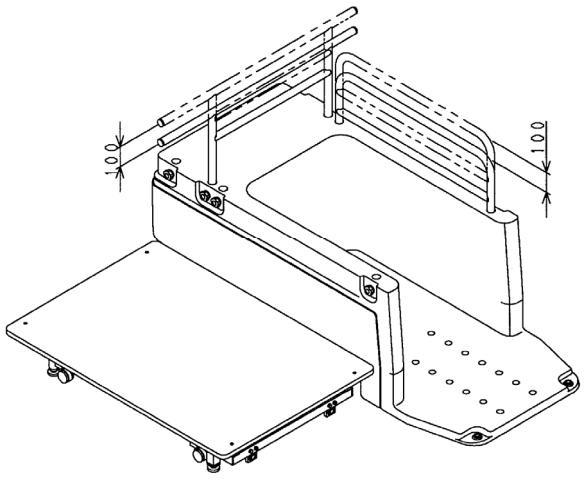
⑤腰掛けスペースの有無・背面手すり高さの設定

背面手すりの位置を前後させることで、トレーニングする人が腰掛けるスペース（約 300 ㎜×600 ㎜）の有無を設定できます。また、浴槽縁上面から背面手すり上部までの高さを、350 ㎜，400 ㎜，450 ㎜の 3 段階に設定できます。

背面手すりの長い方を、トレーニングする側（洗い場を設置する側）に向けて、浴槽後部の穴に挿し込んだ後、適切な高さに合わせてノブで固定し、ガタがないことを確認してください。

手すり設置後、手すりを取付けてない穴はゴムキャップをしてください。





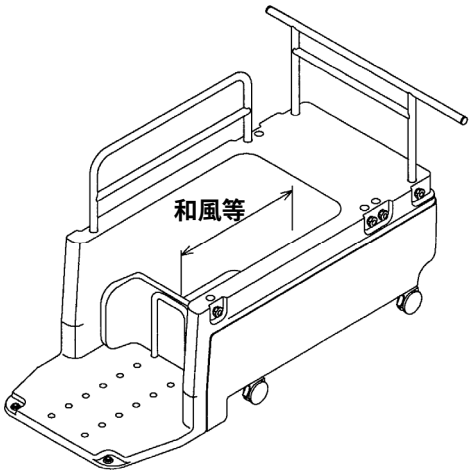
⚠注意　手すりの固定は確実に行う

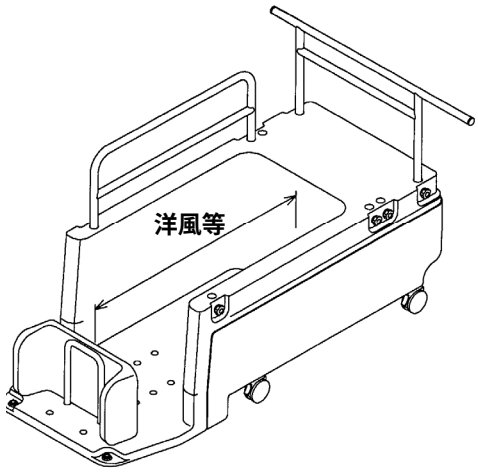
⑥浴槽底面長さの設定

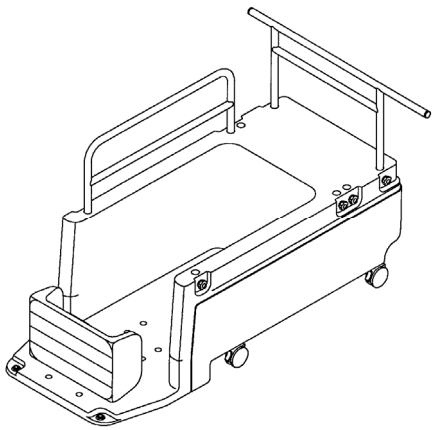
仕切りの位置を変更することで、浴槽底面長さを、630 ㎜～1230 ㎜まで 100 ㎜ごとに 7 段階に設定できます。なお、本製品でトレーニングできる長さは、一般的に下記のように該当します。

和風浴槽　　：　630 ㎜～ 930 ㎜
和洋折衷浴槽：　730 ㎜～1130 ㎜
洋風浴槽　　：　830 ㎜～1230 ㎜

仕切りを、浴槽底面の穴に下図のように挿し込んで、浴槽底面長さを設定してください。逆向きに挿し込みますと、浴槽長さが正しく設定されません。







良い例　　**悪い例**

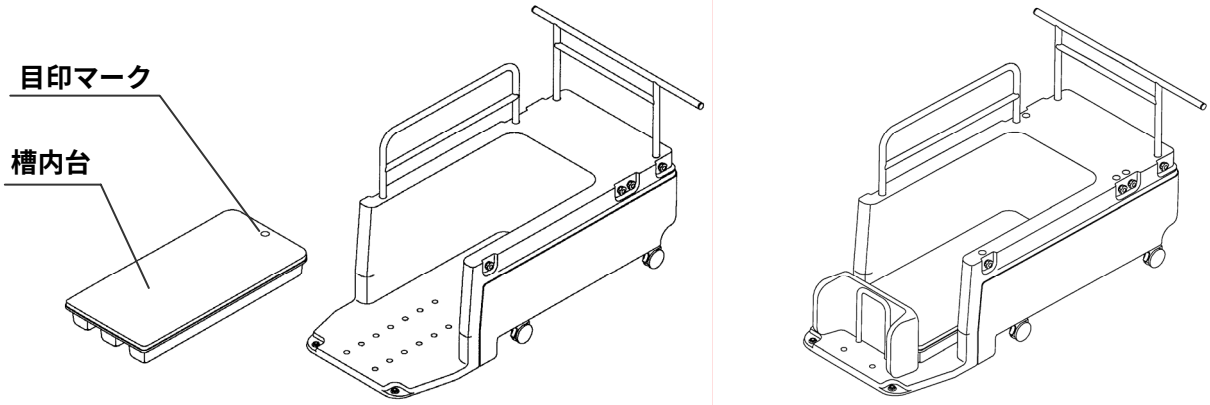
【オプション品による設定】

⑦浴槽深さの設定

浴槽内の深さは 560 ㎜(和洋折衷浴槽深さ)ですが、槽内台(オプション SAD-903)を浴槽に設置することで、深さを 430 ㎜（洋風浴槽深さ）に設定できます。

《方法》

目印マークのある方を、浴槽背面に向けて、壁面の開放された側から浴槽内に入れます。その後、仕切りを 1130 ㎜の位置に合わせます。



警告　浴槽内に入れるときは目印マークに注意する

向きが逆だと、槽内台と浴槽の間に大きなすきまができ、足先などをはさみ込んで、けがをする恐れがあります。

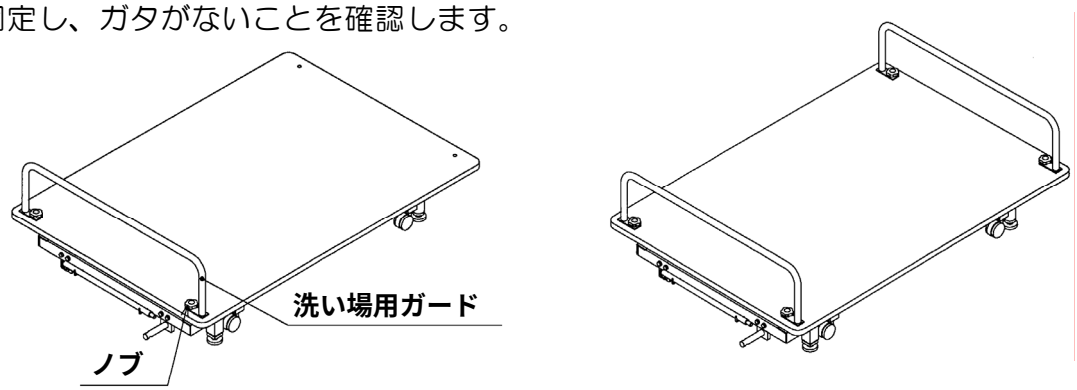
注意　槽内台を使用しないときは安全な場所に保管する

⑧洗い場用ガードの設置

洗い場用ガード（オプション SAD-904）を取付けることにより、洗い場からの落下を防止します。洗い場の左右片側または両側に取付けられます。

《方法》

洗い場用ガードを取付ける側のキャップを外し、その穴にノブを挿し込み、回して固定し、ガタがないことを確認します。



注意　洗い場用ガードの固定は確実に行う

お手入れの仕方

- 普段のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で拭き取り、その後水拭きして、柔らかい布で乾拭きしてください。

⚠ 注意　シンナー，ベンジンなどで拭かない

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	浴槽内の汚れまたは、不要物	目視
機能	手すり、仕切りの固定	前後左右に押して動かないことを確認
	アジャスターのロック	前後左右に押して浴槽及び洗い場が動かないことを確認

✹ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*SAS-900*
  お買い上げ年月：　　年　　月
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解したりしないでください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

  キャスター

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

開放型浴室セット SAS-900		外形寸法		1805(W)×1890(L)×1075(H)mm
		総 質 量		140 kg
セット内容	開放型浴槽 SAD-901	外形寸法		1150(W)×1890(L)×1075(H)mm
		槽内寸法		600(W)×1230(最大 L)×560(D)mm
		質　　量		約 85 kg
		材質	浴　　槽	ＦＲＰ
			フレーム	スチール、亜鉛メッキ仕上
			カ バ ー	ＦＲＰ
			手 す り	ステンレス 一部粉体塗装
			仕 切 り	板：プラスチック フレーム：ステンレス
		キャスター		φ100　ストッパー付
		アジャスター		ステンレス、プラスチック
	洗い場 SAD-902	外形寸法		900(W)×1300(L)×310(H)mm
		質　　量		約 55 kg
		材質	洗 い 場	ベニヤ合板、塗装仕上
			フレーム	上部：スチール、亜鉛メッキ仕上 下部：スチール、粉体塗装
			レ バ ー	ステンレス
		キャスター		φ53
		アジャスター		スチール、ゴム

オプション	槽内台 SAD-903	外形寸法		550(W)×1140(L)×130(H)mm （使用時浴槽内深さ：430 mm）
		質　　量		約９kg
		材　　質		ＦＲＰ
	洗い場用ガード SAD-904	外形寸法		φ22(L)×820(W)×200(H)mm
		質　　量		約１kg
		材　　質		ステンレス、粉体塗装

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合が有ります。